

## 学会企画シンポジウム 7

### 生成 AI ・ デジタル時代における読解力

- 企画・司会                   : 林 創       (神戸大学)
- 企画・司会・指定討論 : 米田英嗣   (青山学院大学)
- 話題提供                   : 犬塚美輪   (東京学芸大学)
- 批判的読解を支える認知プロセスと方略
- 話題提供                   : 猪原敬介   (北里大学)
- 物語文と説明文、それぞれの読解の異同
- 話題提供                   : 畑 文子#   (武南高等学校)
- 生成 AI がアシストする、高校国語定番教材戯曲化の試み
- 指定討論                   : 益川弘如   (青山学院大学)

#### 企画趣旨：

デジタルメディアの普及が進み、いわゆる  $\alpha$  世代（アルファ世代）と呼ばれる、生まれた時からデジタル技術が浸透した環境で育つ子どもたちが、現在、初等中等教育段階にある。近年では、小中高生の半数ほどが「1日の読書時間がゼロ」とのニュースも聞かれるなど、児童生徒の読書量の減少や、短文中心の SNS を通じた情報の受発信の増加などが指摘されている。さらに、生成 AI が急速に普及し、子どもたちにとっても身近な情報環境の一部となりつつある。このような状況のもとで、提示される情報を理解し、吟味し、活用するための読解力は、従来にも増して重要な能力となっていると考えられる。そこで本シンポジウムでは、急速に変化する情報環境を踏まえ、現代において育成すべき読解力とはどのようなものか、また、そのためにどのような指導やかかわりが考えられるのかについて、多面的に検討し、議論する機会を提供することを目的とする。